

平成28年度青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター（アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	青森コミュニティビジネス株式会社
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
情報事業	男女共同参画を推進するための情報を収集、蓄積、提供する情報ライブラリーについて、購入図書の選定やテーマ展示、出前貸出等の工夫を行った。また、ホームページを随時更新したほか、Twitter や Facebook 等を活用しながら、最新の情報を発信した。
地域ネットワーク活動支援事業	県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、地域の特色を活かした男女共同参画の学習会等を各地域で実施した。
情報誌発行业務	男女共同参画の視点に立った情報誌を年2回発行した。特集として「子育て中&非正規雇用の私でも、働ける」等を取り上げたほか、市町村の情報を掲載し、男女共同参画を身近なものとして感じ取ることができる誌面構成とした。
相談事業	女性が直面している問題を受け止め、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環として支援者向けDV講座「デートDV防止講座気づいて築く尊重し合える関係性～見逃さない！思春期世代のSOS」等を実施した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子育て支援に関する情報啓発情報誌を発行したほか、あおもり子育て応援わくわく店の登録及び情報発信等事務を行った。
活動支援事業	県内の地域子育て支援拠点関係者を対象に、子育て支援の連携強化を目的とした研修や実技向上のための講習会を開催した。また、子育て団体の学習会等に講師を派遣した。
総合相談事業	結婚、妊娠、出産、子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、支援を行った。
学習体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、子育て支援関係者の資質向上を図る実技研修を行った。
普及・啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、講演会やワークショップ等を実施した。
調査・研究事業	のびのびあおもり子育てプラン推進に資するべく、「あおもり子育て応援わくわく店利用状況調査」を実施した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数	H24	85,000人	82,804人	97.4%	96.6%
	H25	85,000人	81,978人	96.4%	99.0%
	H26	85,000人	51,729人	60.9%	63.1%
	H27	85,000人	80,404人	94.6%	155.4%
	H28	85,000人	81,080人	95.4%	100.8%
施設使用件数 (H26までは「施設使用料収入」)	H24	6,570,000円	6,923,645円	105.4%	94.5%
	H25	6,570,000円	7,234,710円	110.1%	104.5%
	H26	6,888,000円	4,272,445円	62.0%	59.1%
	H27	3,000件	2,759件	91.9%	—
	H28	3,000件	2,974件	99.1%	107.8%

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報ライブラリー貸出件数	H24	14,000件	12,627件	90.2%	98.1%
	H25	14,000件	11,553件	82.5%	91.5%
	H26	14,000件	7,652件	54.7%	66.2%
	H27	12,000件	9,521件	79.3%	124.4%
	H28	12,000件	10,169件	84.7%	106.8%
地域ネットワーク活動支援事業企画運営 (H26まで「地域パートナーセッション参加者数」)	H24	募集定員の100% (500人)	600人	120.0%	—
	H25	募集定員の100% (460人)	770人	167.4%	—
	H26	募集定員の100% (230人)	228人	99.1%	—
	H27	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
	H28	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
情報誌読者アンケート満足度	H24	5段階評価の4.1	4.0	97.6%	93.0%
	H25	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	107.5%
	H26	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	97.7%
	H27	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	100.0%
	H28	5段階評価の4.1	4.15	101.2%	98.8%

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報誌活用度	H24	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	102.3%
	H25	5段階評価の4.1	4.5	109.8%	102.3%
	H26	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	91.1%
	H27	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	100.0%
	H28	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	102.4%
手作りおもちゃ講習会参加者	H24	150人	123人	82.0%	93.9%
	H25	150人	119人	79.3%	96.7%
	H26	150人	151人	100.7%	126.9%
	H27	150人	131人	87.3%	86.8%
	H28	150人	168人	112.0%	128.2%

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
親子すくすくスキニシップ参加者	H 2 4	親子向け 募集定員の100% (630人)	親子向け 595人	親子向け 94.4%	親子向け 141.0%
		指導者向け 募集定員の100% (230人)	指導者向け 194人	指導者向け 84.3%	指導者向け 117.6%
	H 2 5	親子向け 募集定員の100% (590人)	親子向け 564人	親子向け 95.6%	親子向け 94.8%
		指導者向け 募集定員の100% (550人)	指導者向け 542人	指導者向け 98.5%	指導者向け 279.4%
	H 2 6	親子向け 募集定員の100% (360人)	親子向け 359人	親子向け 99.7%	—
		指導者向け 募集定員の100% (100人)	指導者向け 94人	指導者向け 94.0%	—
H 2 7	親子向け 募集定員の100% (340人)	親子向け 319人	親子向け 93.8%	親子向け 88.9%	
	指導者向け 募集定員の100% (130人)	指導者向け 89人	指導者向け 68.5%	指導者向け 94.7%	
H 2 8	親子向け 募集定員の100% (370人)	親子向け 329人	親子向け 88.9%	親子向け 103.1%	
		指導者向け 募集定員の100% (110人)	指導者向け 109人	指導者向け 99.1%	指導者向け 122.5%
子育て広場参加者	H 2 4	募集定員の100% (200人)	120人	60.0%	51.3%
	H 2 5	募集定員の100% (220人)	102人	46.4%	85.0%
	H 2 6	募集定員の100% (220人)	143人	65.0%	140.1%
	H 2 7	募集定員の100% (230人)	121人	52.6%	80.9%
	H 2 8	募集定員の100% (180人)	99人	55.0%	104.6%

【増減理由】

・貸館利用者数、施設使用料収入について

施設の利用人数、使用件数は目標に達しなかった。冬期間の目標未達成が主な原因と分析される。今後は、各団体・関係機関に対するPRを強化し、実績の底上げを図る必要がある。

・地域ネットワーク活動支援事業、情報誌読者アンケート満足度について

県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、地域の男女共同参画の学習会を実施した。情報アンケートについても、例年並み評価を得た。

・親子すくすくスキンシップ参加者数

親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、子育て支援関係者の資質向上を図る実技研修を行った。前年度よりも参加者が増加したが、目標値は達成できなかったため、開催地域の行事状況等を踏まえ開催地域市町村と連携する必要がある。

・子育て広場参加者

「ファザーリング」をテーマに講演会を開催した。アンケート結果は満足度の高い結果を得たが、成果実績が目標値の半分程度のため、今後は、体験型ワークショップ等を盛り込む等内容、開催時期及び広報等のPR方法の見直しが必要である。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われているか。	4	2	全職員をローテーション勤務とし、業務水準書等に掲げる業務を適正に実施しているが、職員のマナーに対する苦情や開館の状況に一部改善を要した。
②利用促進に向けた取組が適切に行われているか。	4	3	館内における催事案内表示はもちろん、ホームページにおいて施設の予約状況を情報提供しているほか携帯サイトやスタッフブログにより、利用情報提供の利便性向上に向けて取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	建物、設備の維持管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとり利用者の利便性と安全性が確保されている。また、備品管理については日常点検・確認を実施している。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	4	3	基本協定書の規定を遵守すべく、随時職員の教育の徹底を行った。また、防災マニュアルを改訂し、来館者へ注意事項を示した簡易マニュアルを整備したほか、緊急連絡系統図の周知徹底を図っている。なお、消防訓練も実施している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	4	3	管理業務及び両センターの事業は事業計画書に基づき実施され、指定管理料が適正に執行されている。また、管理標準を定め、光熱水費等の無駄の削減、経費節減に努めており、必要な修繕の早期対応に努めている。

⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	4	4	一部達成できなかった指標項目があるものの、ほぼ成果目標達成のための努力が行われている。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組を行っているか。	4	3	個人情報保護の重要性を踏まえ定期的に職員研修を実施しており、苦情等の問題が発生していない。
総合評価	4	3	総合して業務水準書等の内容が満たされている。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている。
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。